

# まちのアルバム

## モノづくり企業から学ぶ環境保全

ピー・アンド・ジー滋賀工場で環境学習講座が行われ、祇王小学校6年生89人が工場を訪れました。

同社の社員が講師役を務め、製品の製造過程でのゴミの削減や化粧品ボトルの再利用など、企業と消費者が一緒に取り組む持続可能な環境事例を紹介しました。

また、生活と環境のつながりを考えるカードゲームでは、児童たちは互いに話し合い、試行錯誤しながら取り組んでいました。

夏休みから環境問題について学び、どのような行動が環境への課題につながるのかを考えてきた児童たち。

企業で取り組まれている環境保全活動を知ることにより、より実践的な視点で身近な問題として考えることができました。

▼11月28日 ピー・アンド・ジー滋賀工場



## 歴史の小窓

—学芸員のメッセージ—

(220)

歴史民俗博物館 ☎587-4410、Fax587-4413

## 青銅器をつくる

—下々塚遺跡土製鑄型—

当館の展示をご覧になった人から、「野洲市で発見された24個の大岩山銅鐸は、どこでつくられたのですか」というご質問をいただくことがあります。

博物館にほど近い、かつて丘陵だった場所にこれらの銅鐸が埋められていたことと、それらがつくられた場所とを単純に結びつけることは、残念ながらできません。

大阪府茨木市東奈良遺跡のように、銅鐸をつくった鑄型（溶かした銅を流し込んでつくる際に用いる型）などが見つかり、その一帯で銅鐸がつけられていた可能性はとて高くなるでしょう。

今のところ、大岩山丘陵周辺において明らかに銅鐸の鑄型というものは見つかっていませんが、市内の下々塚遺跡では、興味深い資料が出土しています。

それは、内面に斜格子状の刻み目、外面に把手がみら

れる弥生時代中期から後期ごろと考えられている土製品です（写真は内面）。その大きさや形状から、銅鐸というより、何らかの青銅器をつくる鑄型の外枠と考えられています。

今後、大岩山銅鐸生産に関連する発見があれば、謎の解明に、より近づくことでしょう。

（博物館学芸員 角 建一）



下々塚遺跡土製鑄型(野洲市教育委員会蔵)

※博物館は1月5日(木)～3月下旬までは防災設備等更新工事に伴い休館となります。(1日祝～4日(木)は年始休館) 詳細は5ページをご覧ください。